

4月8日(土)、鳥取大学は鳥取市国際交流プラザ及び鳥取県国際交流財団の協力を得て、新留学生を対象にオリエンテーションを実施しました。このオリエンテーションは、毎年、4月と10月に実施しているもので、このたびは新たに来日した留学生35名が参加しました。

始めに安延副学長・国際交流センター長から自己紹介と国際交流センターと国際交流課の役割についての説明があり、留学生も熱心に聞いていました。

続いて、国際交流センター教員から自己紹介、日本語コースの説明、保健管理センター教員による健康管理の説明があり、その後、英語、中国語、韓国語の語圏別に分かれて奨学金、保険など各種手続きについて、説明がありました。

さらに鳥取警察署による防犯、交通安全、災害、在留資格など交通ルールやマナーなどを学びました。

鳥取市国際交流プラザによるオリエンテーションでは、ゴミの分別方法を学ぶなど貴重な体験となりました。鳥取県国際交流財団では、施設の利用方法などの説明を受け、一日のオリエンテーションが無事終了しました。

鳥取大学では、留学生が安心して学生生活を送れるよう支援を行っています。



保健管理センターによる説明を受ける



ゴミの分別に挑戦中